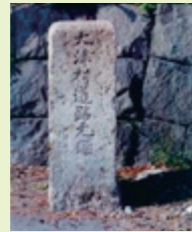


**おおつむらどうろげんびょう**  
**大津村道路元標**

大正8年(1919)に県が、県内の1町村に一つ道路元標を石碑として建てるよう命じ、大正9年(1920)に、吉美村西宅地848番地の南道路大津1号の出发点に大津村道路元標が建てられました。

行った日



**かんべえしんでんおおてかこいつつみ**  
**勘兵衛新田大手囲堤碑**

天保13年(1842)に龍野藩の殿さまが幕府の命令を受けて、則直村の三木勘兵衛に大津茂川の河口の干拓を命じた。勘兵衛は弘化元年(1844)に潮止めを成功し、嘉永2年(1849)穀物づくりを始め、嘉永7年(1854)に土地の検査が行われました。この石碑は勘兵衛をたたえて建てられました。

行った日



**きびむらふなだまりこうあとち**  
**吉美村船溜港跡地**

吉美村は昔「君ヶ浜村」とよばれていて、吉美港は記念碑から西へ約70mのところにあります。林田藩の役人がつとめる蔵屋敷や殿さまのお茶屋、回船問屋もたくさんありましたが、今は何も残っていません。

行った日



**きみうらゆらいき**  
**君浦由来記(君ヶ浜公園内)**

吉美村には、大津で最も古い「君浦由来記」という本が残っています。それによれば吉美村は昔「君浦」といい、明応元年(1492)、「君箇濱」と名前を変えたと書かれています。

行った日



**しおいりがわいせきもんびへんせん**  
**汐入川井堰・門扉変遷の碑**

江戸時代の終わりに勘兵衛新田ができた時、この石碑から300m南に大門扉をつくって潮止めをし、300m北に水を止める堰をつくって水を引く、田畑に水を送っていました。その後、日本製鐵広畑製鐵所やポンプ場を建てるため、ともに取り壊されました。

行った日

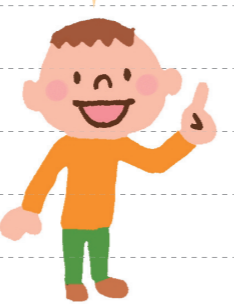


みなみおおつちく  
**36 南大津地区**



この地区には、石碑がたくさんありますね。石碑にどんなことが書いてあるのが調べてみましょう。自分の知らない南大津の歴史が発見できるかもしれません。

調べたこと、  
分かったことを  
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣
- 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

行った日



**しほど かんべえ**  
**潮止め(勘兵衛)**

三木勘兵衛・官次親子が、それまでの土でできた堤防ではなく石をたくさん積みかさねた堤防をつくりました。家島の石や、天満村や吉美村の古塩漬跡の石も使いました。その後、近くの村や他の領地からも多くの人々が参加し、新田開発は成功しました。

行った日



**はねばしこうぞうしき だいきばしあと きねんひ**  
**跳橋構造式 大吉橋跡 記念碑**

吉美村と大島村を結ぶ大吉橋は、帆船や高瀬舟が大津茂川を行き来できるよう、昭和7年(1932)に橋の東半分を手動ウィンチで巻き上げる跳ね橋になりました。その後、昭和27年(1952)に新しい橋をかけるために取り壊されました。

行った日



**はやしだはんふなぶぎょうしよ おちやしつ**  
**林田藩船奉行所 御茶室 藩蔵屋敷跡地**

吉美村は、林田藩建部家が元和3年(1617)から明治維新まで治めていた土地で、ここには藩船奉行所、御茶室、藩蔵屋敷がありました。林田川、揖保川、網干川を行きかう高瀬舟が年貢米などを運び、吉美廻船が大坂、九州などへ運びました。

行った日



**まえしんでんあとひ**  
**前新田跡碑**

三木勘兵衛の長男・官次が弟の元三郎と一緒に干拓(海を陸地にすること)を引きつぎました。安政4年(1857)の暴風で大手囲堤がほとんど壊れてしまいましたが、次の年には完全に直しました。文久元年(1861)に石の堤防で囲まれた前新田が完成し、これを記念して石碑が建てられました。

行った日



**かんべえ**  
**れんこんづくり(勘兵衛)**

南大津では水はけの悪い土地を利用して、昔かられんこん栽培が行われています。質の良いれんこんは、ほぼ年中収穫され、全国に出荷されています。また、小学校ではミニれんこん畑づくり、地域の人と一緒にれんこんを育てています。